

# ふるさと 資料紹介

＝(68)＝

## 史料と地名からみた 地区の歴史23

### 伊深(一)

天平勝宝二年(七五〇)、  
藤原仲麻呂ふじわらのなかまろの命令により武儀郡  
揖可郷いふかから二二歳の「奴ぬ」が東  
大寺に献上されたことが、「美  
濃国司解みんこうしげ」という史料に出てき  
ます。この揖可が、現在の伊深  
です。ただし、現在よりかなり  
広い範囲でした。

揖深庄は平安末期から古文書  
に現れはじめ、長寛元年(一一  
六三)のころは近衛家このえの所領で、  
後に鷹司家たかつかさに移ります。鎌倉中  
期の揖深庄の地頭は春日部左衛  
門泰実でしたが、弘長三年(一

二六三)に解任されています。

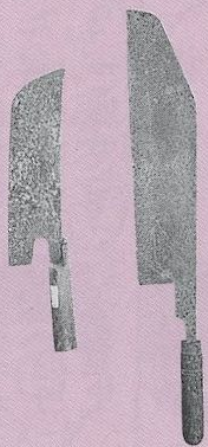
廿屋の白山神社の棟札に「大  
日本国濃州路賀茂郡揖深之内  
津々野村 弘治三年」とありま  
す。このころ(十六世紀半ば)  
には、揖深庄が武儀郡から加茂  
郡に移っていたことが分かりま  
す。

今回は、次の方から貴重な資  
料を寄贈いただきました。あり  
がとうございました。

(平成九年一月分)

○桑切り包丁など 十二点

(酒向久人さん／山之上町)



桑切り包丁

○長火鉢など 十六点

(山田道男さん／山之上町)

○戦前の硬貨など 約八十点

(藤田久夫さん／加茂野町)

計画中の博物館建設のため、現  
在いろいろな資料を収集してい  
ます。文化課(文化会館内／  
内四〇八)まで情報をお寄せく  
ださい。